

＝小学部交流及び共同学習とおまけの話し＝

【小学部交流及び共同学習】

6月に入って、2週間が経ちました。小学部の交流及び共同学習を見てきました。本校小学部は、同じ宮崎市清武町内にある加納小学校と交流をしています。加納小学校と本校との交流は平成3年から始まりましたので、今年で33年になります。この3年間、コロナ禍により直接的な交流ができませんでした。今年は、4年ぶりに子供たち同士がふれあう交流ができます。加納小学校との交流は、各学年同士で交流を実施しています。1年生からずっと交流を続けますので、年々、子供たち同士の絆が深まっていきます。とは言っても、今年は4年ぶりの交流です。3年間のブランクがありますので、子供たちの様子が気になるところです。私は、6/1(月)に行われた5年生の交流及び共同学習を見てきました。結果として、私の「気がかり」は杞憂でした。5年生は、2クラスが「転がしドッジボール」を、2クラスが「魚釣りゲーム」をしていました。両校の子供たちが、お互いに談笑しながらそれぞれのゲームを楽しんでいました。ボールを譲り合ったり、魚を釣り上げた枚数を喜び合ったりしながら、楽しいひとときを過ごしていました。交流及び共同学習は本校の子供たちだけでなく、加納小学校の子供たちにとっても多くの学びがあります。そのことを加納小学校の校長先生や先生方もよく理解してくださっていて、そこかしこに障がいのある子供たちへの配慮が見え、とてもうれしく思いました。こういった小さい頃からの交流が未来の共生社会の礎になるんだなーと改めて思いました。

【おまけの話し】

実は私、サッカーが大好きで(とは言っても見る方ですが)、カール・ハインツ・ルンメニゲ、ロベルト・バジジョ、ドラガン・ストイコビッチなど、そのプレーに魅了されてきました。中でも、シャビ、イニエスタ、フェルナンド・トーレスなどがいた2010年のスペイン代表チームは一番魅せられたチームです。なので、イニエスタ選手が日本にいる間に彼のプレーが見たいと、これまで何回か福岡で試合があったときに見に行ったのですが、そのときは出場しませんでした。そこで先般、神戸まで試合を見に行ったのです。ところが、前日の大雨で交通網が遮断され、相手チームが神戸まで来ることができず、試合が中止になってしまいました。そのことを知ったのは伊丹空港でした。私は一緒に行っていた妻と長女と「仕方がない。神戸を観光して帰ろう。」と、まず三宮にあるデパートに行きました。そのとき奇跡が起きたのでした。私たちがデパートに入ろうとすると、中から出てきのが彼だったのです。そう、まごう事なき「アンドレス・イニエスタ」その人だったのです。長女が「応援しています。」と言うと、立ち止まって笑顔で「アリガトウゴザイマス」と言ってくれました。数秒間の奇跡でした。私は数学者ではないので、この奇跡がどれくらいの確率で起こるか分かりませんが、とにかくこの奇跡に感謝。